



レニーと学ぼう!

ミニメド™700シリーズ
インスリンポンプサークル

Insulin pump Circle

オート
モード
編

No. 10

「オートモードを快適に、
できるだけ長く使うために」の巻



Q

オートモードは
どんなときに終了するのですか？



A

オートモードの終了には様々な理由があるから、まずは一緒に確認して
みるぞ。対処方法を身につけて、オートモードを快適に、できるだけ
長く使うことが、良好な血糖コントロールのために大切なんじゃよ!*

*1 SH Duffus, et al. Diabetes Obes Metab. 2020 April ; 22(4): 688-693.

オートモードが終了する理由

詳細はユーザガイドをご参照ください。

オート基礎注入

5分毎に測定するセンサグルコース値をもとに基礎インスリンが自動調整される。

セーフ基礎注入に移行する問題発生の例

- ・トランスミッタとポンプが通信していない、またはセンサの較正期限が切れていて、センサグルコース値が表示されていない場合。
- ・センサが実際のグルコース値より低く測定している可能性がある場合。
- ・血糖値がセンサグルコース値と35%以上差異がある場合。
- ・センサの交換後、センサが準備中である場合。
- ・オートモードが2時間半にわたってオートモード最小基礎注入レートになっている場合。
- ・オートモードが4時間にわたってオートモード最大基礎注入レートになっている場合。

セーフ基礎注入²

過去の注入履歴をもとに基礎インスリンが一定のスピードで注入される。

問題が対処されずに90分経過

オートモードの終了

マニュアルモード²

事前に設定していた基礎インスリンレートで注入される。事前に設定していた低グルコース(前)一時停止機能はオフになっている*。

マニュアルモードに直接移行する 問題発生の例

- ・「高センサグルコースアラート」が発生した場合
(300mg/dL以上が1時間以上、250mg/dL
以上が3時間以上)
- ・手動で注入一時停止し4時間以内に再開され
なかった場合
- ・センサ機能を手動でオフにした場合
- ・トランスミッタのペアリングを解除した場合

*必要に応じ、低グルコース(前)一時停止機能をオンにしてください。(設定方法は『はじめてみよう!リアルタイムCGM』をご参照ください)

2 問題が対処されたり、オートモード開始の条件がすべて満たされた場合、オートモードに復帰します(オートモードを手動でオフにした場合は、オンに戻す必要があります。詳細は『はじめてみよう!ハイブリッドクローズドループ』をご参照ください)。

いつの間にかオートモードが終了していた場合

ケース 1

Q

いつの間にかオートモードが終了していました。
しっかりと気づく良い方法はありますか？



A

「オート血糖値」アラートはオンにしていますか。
「オート血糖値」アラートは、オートモードで問題が発生した場合に、アラートでお知らせしてくれます。



「オート血糖値」アラートは、セーフ基礎レートで動作する時間を短くするためのアラートです。ポンプの出荷時に、この設定はオンになっています。睡眠などの妨げにならない範囲で、使用を検討してみてください。

オート血糖値アラートがオンの場合に発生するアラート

- 要血糖値
- オートモード最大注入レート
- オートモード最小注入レート
- オートモードに必要な校正



オプション>スマートガード>オート血糖値アラート

Tips!

「オート血糖値」アラートがオフの場合はアラートは通知されず、バナーのみがポンプに表示され、セーフ基礎に移行します。



Tips!

就寝中に「高センサグルコース」アラートが発生し、直接マニュアルモードに移行することがないように、就寝前に血糖値を確認し、必要に応じて補正ボーラスを打ってから就寝しましょう。

ケース 2

Q

いつの間にかオートモードが終了していました。低グルコース（前）一時停止機能を事前に設定していたので、オートモード終了後に基礎注入は下限値（または下限値の前）で止まるはずだと思ったのですが、止まらなかったのはなぜですか？



A

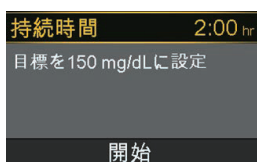
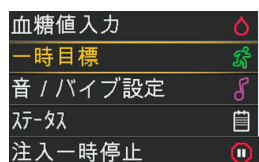
オートモードが有効になった時点で、
低グルコース（前）一時停止機能は自動的にオフになります。
必要に応じ、低グルコース（前）一時停止機能を手動でオンにしてください。



オートモードが終了した場合、低グルコース（前）一時停止機能をオンにするまで有効になりません。必要に応じて手動でオンにしてください。低グルコース（前）一時停止機能の使用については必ず主治医にご相談ください。設定方法は『はじめてみよう!リアルタイムCGM』をご参照ください。

Tips!

オートモードを使用していても就寝中の低血糖が心配な場合は、「一時目標」の設定を検討してみましょう。最大12時間まで一時的にオートモード目標値を150mg/dLに変更することができます。一時目標の使用については、必ず主治医にご相談ください。



詳細は『はじめてみよう! ハイブリッドクローズドループ』をご参照ください。

ケース3

Q

較正期限が12時間ではなく6時間のときがあり、タイミングが悪いと較正を諦めてしまうことがあります。オートモードを終了させないためにも、何か良い方法はありますか？



A

次の較正はクイックチェックから確認することができます。また、血糖が安定しているのであれば、「要血糖値」の値を較正に使用しましょう。較正期限を延ばすことができますよ。

ポンプは測定の信頼性と精度を向上させるために、追加の較正を要求することがあります。次の較正期限はクイックチェックで確認し、慌てないように備えておきましょう。*

*クイックチェックの較正のタイミングは変わる可能性があります。

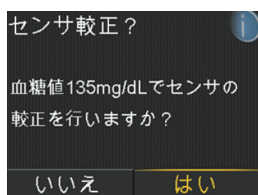
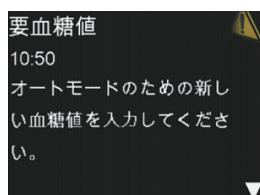
クイックチェック	12:03 AM
モード	マニュアル
	12:00 AM
	Jan 1
次の較正	12:02 PM
前回のポーラス	--- U
前回の血糖値	100 mg/dL

ステータス>クイックチェック

Tips!

「要血糖値」はオートモード開始時、またはセーフ基礎からオート基礎に移行する時に、センサの信頼性を確認するために血糖値の入力を求めます。そのため、要血糖値入力の値で、較正を行うことは必須ではありませんが、血糖が安定している場合は較正に使用することが可能です。

血糖が安定しているときに「要血糖値」が発生し、較正に使用したい場合



重要!
チェック

血糖値入力後、較正ができますが、必須ではありません。変動の大きい時は較正はしないでください。

「はい」を選択し、要血糖値の値を較正に使用します。

「高センサグルコース」アラートが発生した場合

ケース4

Q

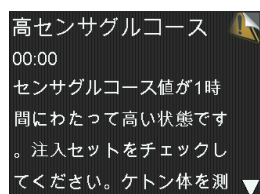
オートモードを使用して数か月は問題なかったのですが、最近、食後のコントロールがうまくいかず「高センサグルコース」アラートが発生してオートモードが終了してしまうことがあります。



A

糖質量の見積りに誤りはありませんか？
また、糖質インスリン比と残存インスリン時間の見直しが必要な可能性もありますので、主治医に相談しましょう。

300mg/dL以上が1時間以上、250mg/dL以上が3時間以上続くと「高センサグルコース」アラートが発生します。このとき、オートモードが終了し、直接マニュアルモードへ移行します。ケアリンク™レポートを参照しながら、糖質インスリン比や残存インスリン時間を主治医に相談しましょう。



オートモードポーラスの計算の基になる値

設定	医師が判断	システムが決定
糖質インスリン比	✓	
インスリン効果値		✓
残存インスリン時間	✓	
オートモードポーラス目標値		✓

センサが実際のグルコース値より低く測定している可能性がある場合

血糖値がセンサグルコース値と35%以上差異がある場合

Q

ポンプとトランスミッタが通信できているのに、セーフ基礎注入になる場合があります…。



A

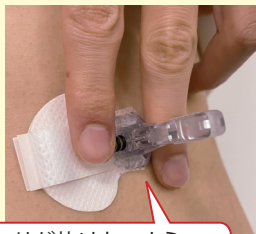
センサが実際のグルコース値より低く測定している可能性がある場合や、血糖値がセンサグルコース値と35%以上差異がある場合などが考えられます。センサ装着方法や装着部位、較正の方法などを確認してみましょう。

Tips!

センサが実際のグルコース値より低く測定している可能性がある、または血糖値がセンサグルコース値と35%以上差異がある場合の原因と対処方法

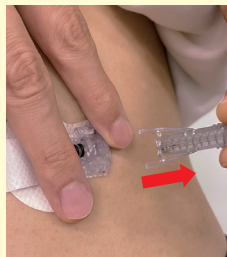
① センサ装着が適切でない または、装着時にセンサが損傷したり抜けたりしている

- ・センサが損傷しないように丁寧に装着する



センサが抜けないうち、センサコネクタとセンサベースを押さえる

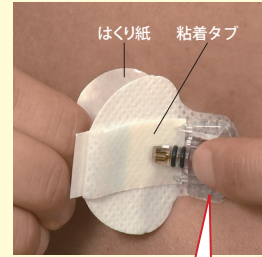
重要! チェック



重要! チェック
ニードルハブの上部(ギザギザした部分)を持って!

もう片方の手でまっすぐ真上に引き上げる。ねじらない。

重要! チェック



センサが抜けないうち、しっかり押さえる。

重要! チェック

『はじめてみよう! リアルタイムCGM』をご参照ください。

- ・装着部位の変更やローテーションを検討する

② センサ接続部に汗や水分、血液が付着した

- ・汗をかきにくい部位を選ぶ
- ・出血した場合には、しっかりと止血する

③ 実測血糖値とISIGの差が大きい

- ・血糖変動の少ないタイミングに較正を行う
- ・較正を適切な方法・手順で行う
- ・血糖測定(チップの有効期限の確認や清浄/消毒など)を適切に行う
- ・血糖測定後、速やかに値をポンプに入力する

詳細は『インスリンポンプサークルNo.9』、『はじめてみよう! リアルタイムCGM』をご参照ください。

製品を安全にご使用いただくため、必ず電子添文とユーザガイドを併せてご確認ください。

日本メドトロニック株式会社

ダイアピーティス

〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp

販売名:メドトロニックミニメド700シリーズ
医療機器承認番号:30300BZX00256000

販売名:メドトロニックガーディアンコネクタ
医療機器承認番号:22900BZX00321000



ポンプアクセサリショップ

便利な商品を、ポンプの安全使用にお役立てください。

<https://shop-lenny-medtronic-jp.com/>



インスリンポンプやリアルタイムCGMの使用方法、アラーム対処など、お気軽にご質問ください。



日本メドトロニック
24時間サポートライン

コール ミニ コール
0120-56-32-56

製品の使用方法やよくある質問などをご紹介します。



www.medtronic.com/minimed770g

パソコン、スマートフォンやタブレット端末からもアクセスできます。



クラブレニーで登録のお願い

- ・製品をより安全に、安心してお使いいただくためのメール配信サービスです。
- ・製品の使用を開始する際、できるだけ速やかにご登録をお願い致します。
- また、すでに使用を開始されている方も、同様に登録をお願い致します。



www.medtronic.com/clublenny